学校番号	403

令和２年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版「生物基礎」　（数研出版）						
副教材等	サイエンスビュー生物総合資料四訂版（実教）　セミナー生物基礎（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「生物とは？」「生命とは？」をテーマにした科目です。生物を学習するということは、『ヒト』という生物である自分自身についてもよく理解し、関心をもつということでもある。生物基礎の学習をとおして、生物のみならず自分自身についてもしっかり理解してほしい。

２　学習の到達目標

生物の多様性と共通性を理解し、生物は生態系の中で他の生物や環境と共存しようとしていることに気づき、生命、自然に興味をもつと共に、これらを尊重する態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	生物、自然について関心をもち、意欲的に探究する。 科学的なものの見方、考え方ができるようになる。	生物、自然について、常に問題意識をもち、それに対し、科学的思考過程をたどりながら論理的に解明した上で正しくそれをまとめ、表現する。	生物、自然についての実験・観察を行い、操作、記録、データ収集、考察を通して科学的に探究するための能力を身につける。	生物、自然について原理、原則を習得し、知識を増やしていく。
評価方法	学習状況 提出物（ﾉｰﾄ、ﾚﾎﾟｰﾄ） 発表	学習状況 提出物（ﾉｰﾄ、ﾚﾎﾟｰﾄ） 発表 定期考査	学習状況 提出物（ﾉｰﾄ、ﾚﾎﾟｰﾄ） 発表 定期考査	学習状況 提出物（ﾉｰﾄ、ﾚﾎﾟｰﾄ） 発表 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生物の特徴	・生物の多様性と共通性	○				a:生物の多様性、共通性とは何かに気づき関心をもつ b:生命におけるｴﾈﾙｷﾞｰ代謝の重要性を理解し考える c:呼吸、光合成反応を理解し実験で確かめる d:生物における呼吸、光合成反応の意義を理解する	学習状況 提出物(ﾉｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ等) 発表 定期考査
		・エネルギー代謝		○				
		・光合成と呼吸			○	○		
	遺伝子とそのはたらき	・遺伝情報とDNA	○			○	a:遺伝子DNAへの関心と探究する b:遺伝情報の発現のしくみを理解 c:遺伝情報が細胞分裂で変化しないことに気づき、その証拠をまとめる d:遺伝情報の変化について理解	学習状況 提出物(ﾉｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ等) 発表 定期考査
		・遺伝情報の発現		○		○		
		・遺伝情報の分配			○	○		
2学期	生物の体内環境	・体液という体内環境	○			○	a:体液について興味を持つ b:体液と腎臓、肝臓の機能との関連を理解し、構造とはたらきに関心をもつ c:神経とﾎﾙﾓﾝの協調性を知りそのﾊﾞﾗﾝｽのもとに生命維持があることを理解しまとめる d:免疫のしくみを理解し医療での応用について興味を持つ	学習状況 提出物(ﾉｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ等) 発表 定期考査
		・腎臓と肝臓		○		○		
		・神経とホルモン			○	○		
		・免疫				○		
	植生の多様性と分布	・さまざまな植生	○			○	a:植生の多様性に興味を持つ b:遷移の要因を理解し考察する c:バイオームと気候との相関を理解し、世界の気候分布と植生の特徴についてまとめる d:バイオーム決定の要因についての知識を身につける	学習状況 提出物(ﾉｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ等) 発表 定期考査
		・植生の遷移		○		○		
		・・気候とバイオーム			○	○		
3学期	生態系とその保全	・生態系	○			○	a:身近な生態系を構成する要因に興味を持つ b:循環と流れの違いを理解し、地球上の物質とエネルギーの性質の違いを考察する c:生態系ﾊﾞﾗﾝｽの大切さを認識しそのための要因をまとめる d:地球のこれからに向けてﾋﾄが成すべきことを考える	学習状況 提出物(ﾉｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ等) 発表 定期考査
		・物質循環とエネルギーの流れ		○		○		
		・生態系のバランズ			○	○		
		・人間活動と生態系の保全				○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。